

非常持出し袋へ
これらも忘れずに!



※NHK コロナウイルス特設サイト より



藤岡 緑 議員

コロナ禍の中で、町の具体的対策を問う

問 出水期に入り、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、避難全般について町の考えを伺う。

ければならない。

答 岡本町長

★新型コロナウイルスの感染が終息していない状況

下で、風水害の被害により避難が必要となった際、従来通りの指定避難所への避難の在り方は見直さな

「分散避難」を多くの方に実行していただくことで指定避難所への避難者数を抑え、避難所内の3密を回避したい。

「分散避難」を多くの方に実行していただくことで指定避難所への避難者数を抑え、避難所内の3密を回避したい。

★新型コロナウイルスの感染が終息していない状況下で、風水害の被害により避難が必要となった際、従来通りの指定避難所への避難の在り方は見直さな

★町では、こうした考え方をまとめて避難の手引を作成し、HP、公式SNS、広報まさきに掲載し周知する予定。

★「分散避難」ができなく

て指定避難所へ来られた方のためには限られた避難スペースの中で感染症に対応した運営を行う。
国や県のガイドラインを参考に、避難所の3密防止、衛生管理及び避難者の健康管理、感染が疑われる避難者への適切な対応など町独自のガイドラインも策定中だ。
★できる限り早急に各自主防災組織に配布し、避難の手引と同様周知したい。

問 今後の小、中学校の学校教育は。

答 本馬教育長

★各学校においては、マスク着用や手指消毒、換気などの徹底、飛沫防止にフェイスマスクやスクリーンの設置、教室内の座席の適切な配置、子どもの安全を確保するための給食指導のマニュアルの作成、校舎や教室内の消毒など様々な準備をし

て完全再開を迎えた。再開後も感染症対策について毎日点検を行っている。

★今後は学校での日常を無理のないよう取り戻し、子どもの負担が重くならないように学習の遅れを取り戻していききたい。また臨時休業による授業時間不足を解消するため、夏休み中に13日間授業をし、給食も実施する。

☆2学期に予定している運

動会や文化祭、すでに延期している自然の家や修学旅行の実施についても検討を始めている。

問 オンライン授業は

家庭のICT環境について町の約2200名の小、中学生にアンケート調査を行い、ネット環境がない家庭も約2割と判明。オンライン授業を行うことは、現段階では不可能だ。

再度休校措置になった場合も、従来通り紙ベースの課題や学校HPに掲載した学習資料を活用する家庭学習となる。課題の与え方を反省し、質や量を適切なものにした。

意見

国のGIGAスクール構想の加速の動きもあり、今後町の財政状況を考慮しながらICT環境のスピード化を注視していきたい。